

第25回世界スカウトジャンボリー日本派遣団
隊別準備訓練資料

第25回世界スカウトジャンボリー派遣 派遣の手引き



2023年3月
第25回世界スカウトジャンボリー日本派遣団

分 団	参加隊	派遣団個人番号	氏 名

この「派遣の手引き」は、春休みを中心に行われる隊別準備訓練で派遣の概要を理解し、今後の準備を進める参考のために作成しています。

作成時期が出発の約4カ月前ですので、出発までに一部内容が変更になることがあります。その場合は、参加隊指導者からの連絡により修正してください。

<目次>

I. 第25回世界スカウトジャンボリー大会と日本派遣団の概要	1
1. 25WSJ大会の概要	1
2. 25WSJ日本派遣団の派遣計画	5
(1) 日本派遣団の行動指針	5
(2) 日本派遣団の概要	6
(3) 派遣日程	8
II. 派遣の準備	10
1. 何を期待するか	10
2. 出発までにすること	10
3. 出発直前にすること	13
III. 派遣期間中について	14
1. 搭乗・出国手続き	14
2. 飛行機で	15
3. 韓国到着	15
4. 宿泊施設で	16
5. 25WSJ大会期間中	16
6. 25WSJ終了後	16
7. 帰国を前にして	18
8. 帰国まで	18
9. 日本到着	18
10. 帰国した後	19
巻末資料	20
1. 個人装備品	20
2. 派遣支給品と発送予定	20
3. 万一来て備えて	21
4. スマートフォン（スマホ）の利用	21
個人携行品リスト	22
準備訓練	24
世界のスカウティング（世界の登録人口表）	28
ジャンボリー会場の気候	29
日本連盟の世界スカウトジャンボリー参加状況（第16回以降）	30

表紙の「25WSJ日本派遣団シンボルマーク」は、東京連盟小平第5団の田島康正さんのデザインをベースにしています。

I. 第25回世界スカウトジャンボリー大会と日本派遣団の概要

1. 第25回世界スカウトジャンボリー大会（25WSJ）の概要

大会の概要は次のとおりです。プログラムの具体的な内容については、25WSJオフィスから情報が届きましたらお知らせします。

大会名： 第25回世界スカウトジャンボリー（25th World Scout Jamboree）

主催： 世界スカウト機構（WOSM）

ホスト： 韓国スカウト連盟

大会期間： 2023年8月1日（火）～8月12日（土）12日間

7月29日（土） 国際サービスチーム員（IST）到着
7月30日（日） ISTトレーニング
7月31日（月） ISTトレーニング
8月1日（火） 参加者到着
8月2日（水） 開会式（8月3日から8月11日はプログラム）
8月6日（金） 宗教儀礼・文化交流プログラム
8月11日（金） 閉会式
8月12日（土） 参加者退場
8月13日（日） IST退場

場所： 大韓民国 全羅北道 セマングム

仁川国際空港は、現地から300km離れており、シャトルバスで約3時間30分から4時間30分

- 仁川国際空港(ICN)とジャンボリー会場の距離
- 空港からジャンボリー会場：280 km
- バスは高速道路のレストエリアで1回休憩

テーマ： Draw your Dream!（あなたの夢を描こう）

参加者： 世界スカウト機構（WOSM）正加盟の
173の国と地域 他から 合計 50,000人

参加者は、2005年7月22日から2009年7月31日の間に生まれた者で、指定された日に年齢を超えている場合は、国際サービスチーム員（IST）、派遣団本部員（CMT）、または隊指導者として参加できる。

日本派遣団：

派遣団長： 出田行徳 日本連盟常務理事

派遣員： 合計1,597人

（内訳）参加隊1,400人（35隊 スカウト1,260人、指導者140人）

国際サービスチーム員（IST）167人、派遣団本部員（CMT）30人



大会参加費：大会参加費は、各国の国民総所得（GNI）により4つのカテゴリーに定められ、日本はカテゴリーDで1人あたり1,030,000ウォン（約11万円）となる。

大会参加費に次のものが含まれる。

- テントとスリーピングマット
- 8月1日の夕食から8月12日の朝食までの食事
（ISTは7月29日の夕食から8月13日の朝食まで）
- 調理器具
（ナイフ・フォーク・スプーン等、カトラリーと皿等の個人用品を除く）
- 参加隊キャンピングキット（タープ、テーブル、椅子）
- 登録キット：ネッカチーフ、参加ワッペン、IDカード
- 交通（仁川国際空港とジャンボリー会場の往復）

大会マーク：

第25回世界スカウトジャンボリーのロゴは、世界中のスカウトが韓国で一つのテントの下に集まり、ジャンボリーの体験を楽しむことを象徴している。このロゴは、韓国の伝統的な瓦屋根（キワジブ）とテントの形をしており、韓国で行われる楽しい祭りの精神を表現している。また、ジャンボリーはスカウト運動の世界スカウト機構（WOSM）の公式行事であるため、世界スカウト章も描かれている。



派遣団：各国からは、参加隊、国際サービスチーム員（IST）、派遣団本部員で編成される1つの派遣団で参加する。ガールスカウト・ガールガイドも、その国の派遣団の一員として参加できる。

参加者は、9人のスカウトに1人の引率指導者で班（Patrol）を編成し、これが4班でスカウト36人・引率指導者4人からなる隊（Unit）が構成される。

会場：ジャンボリー会場は、平らで、一面に海を見下ろし、山の景色も楽しめる。全羅北道の西海岸に位置する美しい辺山辺山国立公園（辺山半島）に隣接し、敷地面積は約8.8平方キロメートルで、6.2km×1.7km（最長点基準）の広い土地に広がっている。（北緯35°42′ 東経126°35′）



ジャンボリー・プログラム：

4S+ACT戦略

ジャンボリーの運営を成功させるために、「4S+ACT」戦略を策定した。この戦略には、ジャンボリーの4つの目標(4S)が含まれている。

- ① スカウティング・フォー・ライフ
- ② スマートと科学
- ③ 安全（セーフ）と安心
- ④ 持続可能性（サステナビリティ）
- ⑤ 冒険 - ジャンボリーの代表的な活動
- ⑥ ホスト国の文化や伝統を体験できる「文化と伝統」では、それぞれに詳細な戦略を練る



① スカウティング・フォー・ライフ

▶ スカウト精神に基づくプログラムの運営

世界スカウトジャンボリーは、スカウト精神に基づいたプログラムと運営体制を構築している。組織委員会は、世界スカウトジャンボリーを通じて参加者がスカウト精神を身につけることができるようスカウトの原則と8つのスカウト手法に準拠したプログラムを確立してジャンボリーを運営している。これにより、参加者のリーダーシップ、チームスピリット、自立心が育まれ、地球規模の問題に対する理解がさらに深まり、積極的な地球市民として成長するための足がかりとなる。

▶ 期待される効果

- 自分自身の健全な発達：身体的、感情的、社会的、心理的
- 健全な市民としての能力向上：責任感、自律性、思いやりのある行動力

② スマートと科学

▶ 最先端技術によるジャンボリー環境の構築

スカウト運動と最先端技術の融合によるオペレーティングシステムの簡素化、および未来技術にリンクしたプログラムの採用により、参加者の満足度を最大化することができる。

▶ 期待される効果

- 自己の健全な発展：知的、社会的

③ 安全と安心

▶ 安全なジャンボリー運営に向けた安全体制の構築

▶ 危機に対応できる市民の育成

組織委員会では、全国レベルで会場施設・エリアの安全計画を策定するとともに、予測される危機とその対策を中心としたジャンボリー安全体制を構築する。

さらに、スカウトが危機に対応できる市民となるために、さまざまな安全・防災の事前訓練を実施する。

▶ 期待される効果

- 自己の健全な発達：身体的、知的、社会的、心理的な発達
- 健全な市民としての能力向上：責任感、自律性、思いやりのある行動力

④ 持続可能性

▶ SDGs を達成するための環境整備

▶ 地球環境問題に対するスカウトの関心の高まり

組織委員会は、全人類に影響を及ぼすこの一般的な問題を克服するために、持続可能な開発目標の概念と戦略を大会の準備と全体の運営にできる限り適用することによって、やがて未来をリードする若者たちがこの問題に注目するよう導くことを計画している。また、世界スカウト機構（WOSM）のプロ

グラム構成である「Better World Framework」のもと、参加者は様々な取り組みに参加することで、自然、平和、コミュニケーション、多様性、結束...などについて学ぶことができる。

▶ 期待される効果

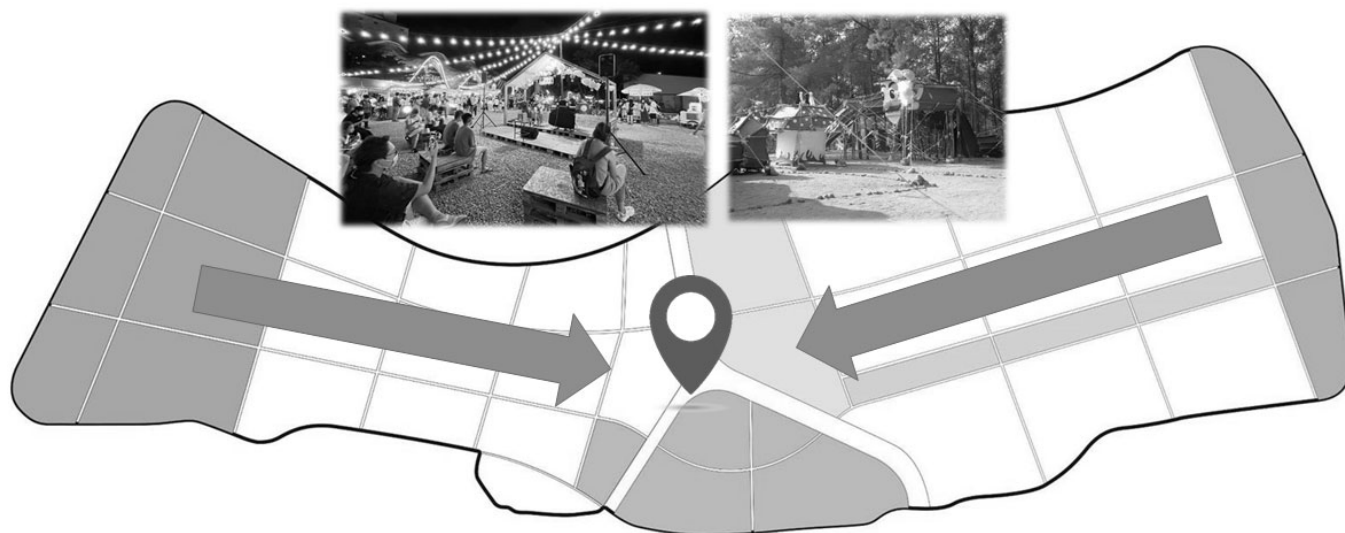
- 自己の健全な発達：知的、感情的、社会的、心理的
- 健全な市民としての能力向上：責任感、自律性、思いやる力
- スカウトの結束と多様性の受け入れ
- 世界平和と環境保全のために貢献、実践

⑤⑥ ACT：冒険、文化、伝統

4Sに加え、冒険、文化、伝統がジャンボリーのプログラムに含まれる。アドベンチャーは、参加者のアクティビティの中で最も好まれるプログラムであり、ジャンボリー会場だけでなく、周辺地域や自然をこれらの体験に結びつけることで、参加者に様々な体験を提供する。文化・伝統では、参加者が各国スカウト連盟の文化や伝統を体験し、アクティビティや展示会訪問などを通じて文化交流を促進する。

▶ 期待される効果

- 自己の健全な発達：知的、感情的、社会的、心理的
- 健全な市民としての能力向上：責任感、自律性、思いやる力
- スカウトの結束と多様性の受け入れ
- 世界平和と環境保全のために貢献、実践



場内（オンサイト）プログラムの予定場所

2. 25WSJ 日本派遣団の派遣計画

(1) 日本派遣団の指針

第25回世界スカウトジャンボリー（25WSJ）日本派遣団の指針

派遣団長 出田 行徳

皆さんは、日本の代表として25WSJに参加しますので、高い意識を持って、次のことを心がけてください。

1. 安全最優先

安全はすべてに優先されます。自分の安全は自分で確保することが大前提です。そのためには、「そなえよつねに」を念頭に行動することが大切です。2週間の派遣とキャンプ生活では、規則正しい生活、規律正しい生活は安全に大きく結びつきます。健康に留意し、肉体的、精神的にきつい場合は、休憩することも必要です。また、「日本とは違う場所にいる」ということを十分自覚して行動してください。

2. 互いに認め合う

大切なことは、多様性を認め合い、仲間と共に、自分たちで、素晴らしい、25WSJを自分たちが創りあげることです。派遣団の班や隊の仲間、他の参加者、大会スタッフ、他国の派遣団など、多くの文化、多様性を持つ参加者が、一緒に生活し活動していく場所では、自分の常識を押し通すのではなく、互いに認め合うことで、素晴らしい25WSJになります。そのためには、あいさつ、よく話す、認める、謝ること等を心がけましょう。

3. 一生に一度の機会

スカウトにとっては、世界スカウトジャンボリーに参加出来るのは一生に一度です。この機会を大切に各自で「自分の夢を描く」目標を持って参加し、今後のスカウティングへの大きな一歩にしましょう。25WSJは世界中、そして日本全国の仲間が参加しますので、積極的に交流して友達を作りましょう。最初は挨拶をして自己紹介から始めてください。同じ体験を共にしますので、相互理解が深まり、大会後も交流できる友達を作ることが出来ます。

指導者とISTは、スカウトたちがこのチャンスを活かせるようにサポートしましょう。

4. 情報の共有

日本派遣団では、「ほうれんそう」（報告・連絡・相談）を大切にします。限られた期間で、皆さんの目標を達成する機会を提供するために、班・参加隊の中では、スカウトたちも「ほうれんそう」が出来るようにしてください。指導者は、日本派遣団本部、そして配属されたサブキャンプからの情報を共有して、スカウトたちのプログラム参加や行動に役立てます。

5. 問題解決と現場での対応

大会期間中は、予想外の様々なことが発生することがあります。問題が生じたときは、情報を共有して、ただ責任を追求するのではなく、どのように解決するかを考えましょう。

日本派遣団本部では、25WSJ期間中に2回の隊長会議を開催する他、毎日各参加隊のサイトを訪問して、現場での問題解決のサポートを行います。

派遣団で、セーフ・フロム・ハームに関する問題が生じた場合は、ルールに沿って対応します。そのために、全派遣団本部員・参加隊指導者・ISTは、事前に25WSJと日本連盟のセーフ・フロム・ハーム研修を履修します。

6. 「そなえよつねに」

派遣参加は、「そなえよつねに」でお願いします。事前の準備は、様々なリスクを想定して、対処する準備をしてください。派遣期間中は、パスポートや金銭等の私物の自己管理を徹底しましょう。パスポートをなくしたら帰国できなくなります。装備品や対処方法は、出発までの「派遣に関する連絡」で皆さんにお知らせします。

(2) 日本派遣団の概要

① 派遣期間：

〈I S T〉 2023年7月29日(土)～8月14日(月) 17日間

〈参加隊〉 C分団(第17～22隊)

2023年7月30日(日)～8月12日(土) 14日間

A分団(第1～8隊)、D分団(第28・29隊)、E分団(第30～32隊)

2023年7月31日(月)～8月12日(土) 13日間

B分団(第9～16隊)、D分団(第23～27隊)、F分団(第33～35隊)

2023年8月1日(火)～8月13日(日) 13日間

② 派遣人員：総員1,597人

(内訳)	参加隊	1400人	(35隊)	スカウト	1260人	、	指導者	140人)
	I S T	167人						
	本部員	30人						

③ 参加隊の編成：

地域を考慮し、また各県連盟のスカウト数に応じた35隊が編成されました。

各隊は、スカウト36人(1班9人 x 4班)、指導者4人(隊長1人、副長3人)、の合計40人で編成されます。

④ 分団の編成

日本派遣団の35隊は、出発・帰国地および人数を考慮し、6つの分団を編成しています。

皆さんが所属する隊もいずれかの分団(A分団～F分団)に含まれています。自分がどの分団なのか覚えてください。分団は、派遣準備や出発から帰国までの移動グループとしても大切な役割をもちます。

〈A分団〉	成田または羽田空港発着	第1隊～第8隊
〈B分団〉	成田または羽田空港発着	第9隊～第16隊
〈C分団〉	中部空港発着	第17隊～第22隊
〈D分団〉	関西空港発着	第23隊～第29隊
〈E分団〉	関西空港発着	第30隊～第32隊
〈F分団〉	福岡空港発着	第33隊～第35隊

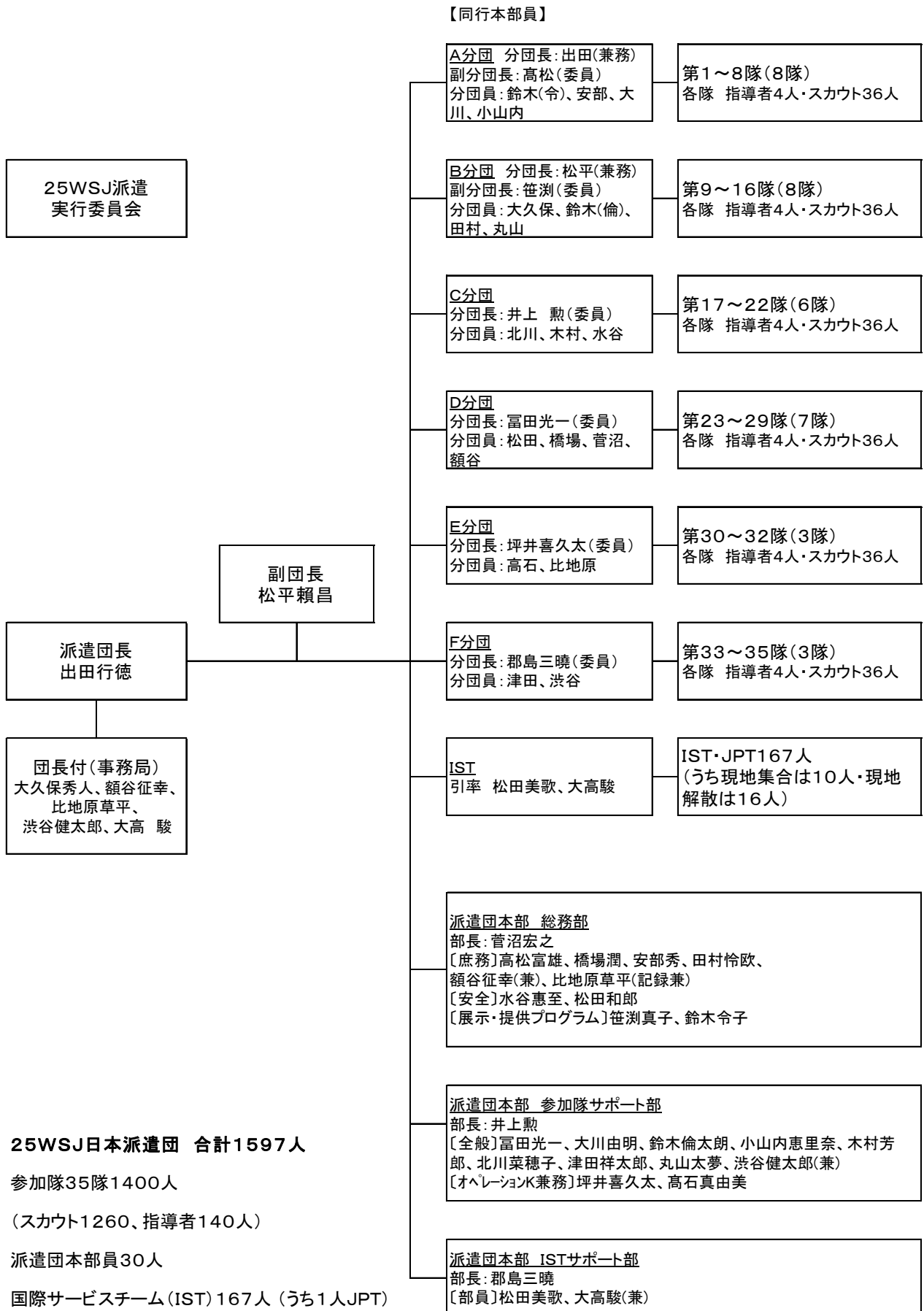
派遣団個人番号について(重要)

参加隊の編成にともない、「派遣団個人番号」を設けました。あなたの番号は、派遣員内定者名簿の左から2列目に6桁で示しています。最初の1～2桁目(S- または L-) がスカウト・指導者の区分、3～4桁目が日本派遣団での隊番号、5～6桁目が所属隊での個人番号になります。派遣団本部員と国際サービスチーム員は、1～3桁目がアルファベット3文字で参加区分を表し、4～6桁目が区分内での個人番号となります。

今後の事務連絡では、この「派遣団個人番号」を記入いただくことも多いので記録しておいてください。派遣員内定者名簿の名簿番号は変更する場合がありますが、「派遣団個人番号」の変更はありません。

⑤ 日本派遣団の組織図

(2023. 3. 08. 現在)



25WSJ日本派遣団 合計1597人

参加隊35隊1400人

(スカウト1260、指導者140人)

派遣団本部員30人

国際サービスチーム(IST)167人(うち1人JPT)

(3) 派遣日程

派遣日程は、現在のところ、次のとおり計画しています。日本派遣団の参加隊は、25WSJ前または後にソウルまたは周辺に宿泊します。航空便等の日程は一部変更する場合があります。

IST⇒		A分団⇒				B分団⇒				
2023年	国際サポーターチーム		A分団				B分団			
発着空港	成田発着	成田発着	羽田発着		成田発着		成田発着		羽田発着	
隊 No.	IST-1	IST-2	1隊・2隊	3隊・4隊	5隊・6隊	7隊・8隊	9隊・10隊	11隊・12隊	13隊・14隊	15隊・16隊
同行本部員	大高駿	松田美歌	出田団長 (分団長)	高松副分団長 大川	安部	鈴木(令) 小山内	大久保 鈴木(倫)	松平副団長 (分団長)	田村	笹淵副分団長 丸山
利用航空会社	アジアナ航空	大韓航空	アジアナ航空	大韓航空	アジアナ航空	大韓航空	アジアナ航空	大韓航空	アジアナ航空	大韓航空
7月27日(木)	76人	76人	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人
7月28日(金)	準備訓練 (10:00集合) 国立オリンピック記念 青少年総合センター(NYC) 結団式・壮行会 NYC泊									
7月29日(土)	08:50 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 13:20 空路成田 発 OZ101 15:50 仁川着 現地集合者合流 大会バスで 25WSJ会場へ	09:30 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 13:55 空路成田 発 KE704 16:30 仁川着 大会バスで 25WSJ会場へ	準備訓練 (L10:00-S14:00集合) 国立オリンピック記念 青少年総合センター(NYC) NYC泊		準備訓練 (L10:00-S14:00集合) 国立オリンピック記念 青少年総合センター(NYC) NYC泊					
7月30日(日)	25WSJ IST訓練		準備訓練 結団式・壮行会 NYC泊		準備訓練 結団式・壮行会 NYC泊		準備訓練・結団式・壮行会 (L10:00-S14:00集合) 国立オリンピック記念 青少年総合センター(NYC) NYC泊		準備訓練・結団式・壮行会 (L10:00-S14:00集合) 国立オリンピック記念 青少年総合センター(NYC) NYC泊	
1 7月31日(月)	25WSJ IST訓練		08:40 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 12:20 空路羽田 発 OZ1075 14:40 金浦着 貸切バスでソウル 市内へ HI-SEOUL泊	08:45 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 12:25 空路羽田 発 KE2102 14:45 金浦着 貸切バスでソウル 市内へ HI-SEOUL泊	08:50 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 13:20 空路成田 発 OZ101 15:50 仁川着 貸切バスでソウル 市内へ HI-SEOUL泊	09:30 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 13:55 空路成田 発 KE704 16:30 仁川着 貸切バスでソウル 市内へ・オーシャン パークナイン泊	準備訓練 NYC泊		準備訓練 NYC泊	
2 8月1日(火)	25WSJ 参加隊受入		貸切バスで仁川空港へ 大会バスで25WSJ会場へ 25WSJ入場		貸切バスで仁川空港へ 大会バスで25WSJ会場へ 25WSJ入場		08:50 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 13:20 空路成田 発 OZ101 15:50 仁川着 大会バスで 25WSJ会場へ	09:30 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 13:55 空路成田 発 KE704 16:30 仁川着 大会バスで 25WSJ会場へ	09:00 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 12:20 空路羽田 発 OZ1075 14:40 金浦着 貸切バスで 25WSJ会場へ	10:30 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 12:25 空路羽田 発 KE2102 14:45 金浦着 貸切バスで 25WSJ会場へ
3 8月2日(水)	25WSJ開会式		25WSJ開会式		25WSJ開会式		25WSJ開会式		25WSJ開会式	
4 8月3日(木)	25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ	
5 8月4日(金)	25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ	
6 8月4日(金)	25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ	
7 8月6日(日)	25WSJ宗教儀礼・文化交流		25WSJ宗教儀礼・文化交流		25WSJ宗教儀礼・文化交流		25WSJ宗教儀礼・文化交流		25WSJ宗教儀礼・文化交流	
8 8月7日(月)	25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ	
9 8月8日(火)	25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ	
10 8月9日(水)	25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ	
11 8月10日(木)	25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ		25WSJ	
12 8月11日(金)	25WSJ閉会式		25WSJ閉会式		25WSJ閉会式		25WSJ閉会式		25WSJ閉会式	
13 8月12日(土)	25WSJ参加者送り出し		貸切バスで 25WSJ退場 08:40 空路金浦 発 OZ1085 10:45 羽田着 解団式の後解散	貸切バスで 25WSJ退場 09:00 空路金浦 発 KE2101 11:10 羽田着 解団式の後解散	大会バスで 25WSJ退場 仁川空港着 09:00 空路仁川 発 OZ102 11:20 成田着 解団式の後解散	大会バスで 25WSJ退場 仁川空港着 10:10 空路仁川 発 KE703 12:35 成田着 解団式の後解散	大会バスで仁川 空港へ 貸切バスでソウル 市内へ オーシャンパークナ イン泊	大会バスで仁川 空港へ 貸切バスでソウル 市内へ HI-SEOUL泊	大会バスで仁川空港へ 貸切バスでソウル市内へ HI-SEOUL泊	
14 8月13日(日)	25WSJ撤収業務 大会バスで25WSJ会場退場 仁川空港から貸切バスでソウル市内 へ 国際ソウルユースホテル泊予定						貸切バスで仁川 空港へ 09:00 空路仁川 発 OZ102 11:20 成田着 解団式の後解散	貸切バスで仁川 空港へ 10:10 空路仁川 発 KE703 12:35 成田着 解団式の後解散	貸切バスで金浦 空港へ 08:40 空路金浦 発 OZ1085 10:45 羽田着 解団式の後解散	貸切バスで金浦 空港へ 09:00 空路金浦 発 KE2101 11:10 羽田着 解団式の後解散
15 8月14日(月)	貸切バスで出発 仁川空港着 09:00 空路仁川 発 OZ102 11:20 成田着 解団式の後解散	貸切バスで出発 仁川空港着 10:10 空路仁川 発 KE703 12:35 成田着 解団式の後解散								

利用航空便は今後変更することがあります。また航空便のダイヤは変更があります。

C分団⇒				D分団⇒			E分団⇒		F分団⇒	
2023年	C分団			D分団			E分団	F分団		
発着空港	中部発着			関西発着			関西発着	福岡発着		
隊 No.	18・19隊	20隊	17・21・22隊	23・24・25隊	26隊・27隊	28隊・29隊	30・31・32隊	33隊・34隊	35隊	
同行 本部長	北川	井上分団長	水谷・木村	松田(和)・額谷	富田分団長 橋場	菅沼	坪井分団長 高石・比地原	津田・渋谷	郡島分団長	
利用 航空会社	アジアナ航空	大韓航空	大韓航空	アジアナ航空	大韓航空	大韓航空	アジアナ航空	大韓航空	アジアナ航空	
7月27日(木)	80人	40人	120人	120人	80人	80人	120人	80人	40人	
7月28日(金)										
7月29日(土)	準備訓練(10:00集合) 春日井 少年自然の家泊 結団式・壮行会は 7月17日に刈谷市産業振興センターで実施予定					準備訓練 (L10:00・S14:00集 合) 大阪府立少年自 然の家泊	準備訓練 (L10:00・S14:00集 合) KOKOLLAZA・ 新大阪ユースホステ ル泊			
7月30日(日)	07:00 貸切バスで 空港へ(朝食弁 当) 11:05 中部発 OZ121 13:10 仁川着 貸切バスでソウルへ 青少年施設泊	05:30 貸切バスで 空港へ(朝食弁 当) 09:15 中部発 KE744 11:26 仁川着 貸切バスでソウルへ 青少年施設泊	09:30 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 13:40 中部発 KE742 15:40 仁川着 貸切バスでソウルへ 青少年施設泊	準備訓練 (L10:00・S14:00集 合) 大阪府立羽衣青 少年センター・大阪国 際ユースホステル泊	準備訓練 (L10:00・S14:00集 合) 結団式・壮行会 大阪府立少年自 然の家泊	準備訓練 結団式・壮行会 大阪府立少年自 然の家泊	準備訓練 KOKOLLAZA・ 新大阪ユースホステ ル泊	準備訓練 (L10:00・S14:00集 合) 福岡県社会教育総合センター泊		
1 7月31日(月)	ソウル市内見学 青少年施設泊			準備訓練 大阪府立羽衣青 少年センター・大阪国 際YH泊	準備訓練 大阪府立少年自 然の家泊	08:35 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 12:25 空路関西発 KE724 14:15 仁川着 貸切バスでソウルへ YMCA泊	06:00 貸切バスで 空港へ(朝食弁 当) 10:50 空路関西発 OZ111 12:50 仁川着 貸切バスでソウル市 内へ YMCA泊	準備訓練 結団式・壮行会 福岡県社会教育総合センター泊		
2 8月1日(火)	貸切バスで仁川空港へ 大会バスで25WSJ会場へ 25WSJ入場			06:00 貸切バスで 空港へ(朝食弁 当) 10:50 空路関西発 OZ111 12:50 仁川着 大会バスで25WSJ 会場へ	08:00 貸切バスで 空港へ(昼食弁 当) 12:25 空路関西発 KE724 14:15 仁川着 大会バスで25WSJ 会場へ	貸切バスで仁川空 港へ 大会バスで25WSJ 会場へ 25WSJ入場	貸切バスで仁川空 港へ 大会バスで25WSJ 会場へ 25WSJ入場	06:55 貸切バスで 空港へ(朝食弁 当) 10:35 空路福岡発 KE788 12:00 仁川着 大会バスで25WSJ 会場へ	07:50 貸切バスで 空港へ(朝食弁 当) 11:30 空路福岡発 OZ131 13:00 仁川着 大会バスで25WSJ 会場へ	
3 8月2日(水)	25WSJ開会式			25WSJ開会式			25WSJ開会式	25WSJ開会式		
4 8月3日(木)	25WSJ			25WSJ			25WSJ	25WSJ		
5 8月4日(金)	25WSJ			25WSJ			25WSJ	25WSJ		
6 8月4日(金)	25WSJ			25WSJ			25WSJ	25WSJ		
7 8月6日(日)	25WSJ宗教儀礼・文化交流			25WSJ宗教・文化交流			25WSJ宗教・文化	25WSJ宗教儀礼・文化交流		
8 8月7日(月)	25WSJ			25WSJ			25WSJ	25WSJ		
9 8月8日(火)	25WSJ			25WSJ			25WSJ	25WSJ		
10 8月9日(水)	25WSJ			25WSJ			25WSJ	25WSJ		
11 8月10日(木)	25WSJ			25WSJ			24WSJ	25WSJ		
12 8月11日(金)	25WSJ閉会式			25WSJ閉会式			25WSJ閉会式	25WSJ閉会式		
13 8月12日(土)	大会バスで25WSJ 退場 仁川空港着 08:10 空路仁川発 OZ122 10:05 中部着 解団式の後解散	大会バスで25WSJ 退場 仁川空港着 19:05 空路仁川発 KE743 21:05 中部着 解団式の後解散	大会バスで25WSJ 退場 仁川空港着 10:40 空路仁川発 KE741 12:30 中部着 解団式の後解散	大会バスで仁川空港へ 貸切バスでソウルへ 国際ユースホステル泊	大会バスで25WSJ 退場 仁川空港着 09:35 空路仁川発 KE723 11:20 関西着 解団式の後解散	大会バスで25WSJ 退場 仁川空港着 07:55 空路仁川発 OZ112 09:40 関西着 解団式の後解散	大会バスで仁川空 港へ 貸切バスでソウルへ ロイヤルエンポリ ウム泊	大会バスで仁川空 港へ 貸切バスでソウルへ ロイヤルエンポリ ウム泊		
14 8月13日(日)				貸切バスで仁川空 港へ 07:55 空路仁川発 OZ112 09:40 関西着 解団式の後解散	貸切バスで仁川空 港へ 09:35 空路仁川発 KE723 11:20 関西着 解団式の後解散		貸切バスで仁川空 港へ 仁川空港着 08:00 空路仁川発 KE787 09:25 福岡着 解団式の後解散	貸切バスで仁川空 港へ 仁川空港着 08:45 空路仁川発 OZ132 10:15 福岡着 解団式の後解散		
15 8月14日(月)										

利用航空便は今後変更することがあります。また航空便のダイヤは変更があります。

II. 派遣の準備

1. 何を期待するか

この第25回世界スカウトジャンボリー（25WSJ）派遣は、次の2部から構成されます。

- ① 第25回世界スカウトジャンボリーへの参加
- ② 韓国ソウルの（車窓）見学

皆さんの訪問国となる韓国はどのようなところでしょうか。ガイドブックやインターネットなどによって予備知識を持つことはできますが、われわれスカウトは、調整と体験のなかから直接「行うことによって学ぶ」のです。見ることは、強固な知識となります。

この派遣では、1人ひとりの体験が重要であることに違いありません。しかし、派遣団全体として、日本のスカウトが総合力を発揮して、広く大きな成果をあげることが期待されます。

世界スカウトジャンボリーで世界兄弟愛の精神を参加各国のスカウトと高揚するにとどまらず、韓国の人々との強い絆（きずな）を築くことが大いに望まれます。

準備訓練を通じて、派遣の目的と目標に対する理解を深め、各自の目標達成に向けて準備を進めてください。

2. 出発までにすること

(1) 渡航手続き

今回の派遣の旅行手配と派遣員内定者の渡航手続きは、次の旅行会社が担当します。

パスポートは取得しましたでしょうか。パスポートを取得したら、「派遣に関する連絡（1）」文書の案内に従って、顔写真のページを担当旅行会社のWEBサイトから登録してください。登録していないと、航空券が発券されません。

今後、担当の旅行会社のWEBサイトを通じて海外旅行保険、K-E-T-Aの代行申請、外貨換金等の案内がありますので、これに基づき必要な準備を行ってください。

担当旅行会社： 株式会社JTB
ビジネスソリューション事業本部 第五事業部 営業三課
〒163-0431 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 31階
TEL: 03-5539-2845 FAX: 03-5539-2828 株式会社JTB

(2) 航空券

日本連盟が担当の旅行会社を通じて、所定の日程に従い準備します。

派遣期間中の個人の航空券は、各隊で管理する等、所属参加隊の隊長から説明されます。

(3) パスポート（旅券）

パスポートをまだ取得していない方は、至急パスポートの取得手続きを行ってください。

詳細はお住まいの都道府県・市区町村のパスポート申請窓口へお問い合わせください。

参考：外務省ウェブサイト

パスポート申請先都道府県ホームページへのリンク

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_6.html

(4) K-E-T-A

パスポートを取得したら、韓国入国のための準備を始めてください。

ここ数年は韓国入国に査証(ビザ)が必要でしたが、日本人もようやくK-ETA(Korea Electronic Travel Authorization)という電子旅行許可制が認められました。派遣員内定者は、事前にこの申請を行い、許可を得なければなりません。この手続きを行わないと韓国行き航空機に搭乗できなくなります。

既に韓国入国ビザをお持ちの方で、ビザ有効期間内に韓国へ入国される方は、K-ETAの必要はありません。

K-ETAの申請にあたり、有効なパスポート、有効なE-Mailアドレス、証明写真(パソコンからの申請時は写真ファイル、モバイルアプリからの申請時はモバイル機器で撮影した写真)、手数料(10,000韓国ウォン)を決済できるクレジット/デビットカードが必要となります。

この手続きは、手数料が必要となりますが、担当旅行会社の派遣WEBサイトから4月10日以降に代行申請を申し込むことができます。

また、K-ETA公式ホームページ(<https://www.k-eta.go.kr>)から行うこともできますが、韓国語か英語での手続きとなります。申請に必要な情報(会場住所・組織委員会登録番号等)は、25WSJ大会組織委員会から正式に発表されましたらホームページ等でお知らせします。

日本国籍以外の方は、手続きが異なる場合がありますので、韓国大使館に確認してください。

(5) 海外旅行保険

海外旅行傷害保険については、次のことに配慮してください。

日本連盟は派遣員1人につき2,000万円の海外旅行死亡・後遺傷害保険、200万円の傷害治療実費保険、1億円の賠償責任保険を付保します。これは、派遣員が万一不慮の事故に遭遇した場合に備えるものですが、病気に対する保険等は含まれていません。

このため、各人で別途に病気等(基本契約+疾病治療実費)を含めた「海外旅行保険」を必ず付保してください。パスポートのコピーを登録していただいた担当旅行会社の派遣WEBサイトでも4月10日以降に案内をしますので参考にしてください。

(6) 予防接種

「派遣に関する連絡(1)」文書でお知らせしたとおり、大会参加前に可能であれば必要な予防接種を受けてください。

(7) 所属学校長への通知

派遣参加について、所属学校長あての文書を「派遣に関する連絡文書(2)」文書に同封しています。スカウトは、同封の派遣日程表と内定者名簿により4月の進学・進級の後、派遣参加について説明をし、学校長の下承を受けてください。

(8) 外貨(韓国ウォン)

派遣期間中の小遣いは、必要最小限の金額としてください。派遣経費には、支給品の他、派遣出発から解散するまでの移動費、大会参加費、飲食費、宿泊費の他、必要な経費がすべて含まれていますので、小遣いは家族・知人への連絡や個人的な飲食代程度で十分です。小遣いの管理は、派遣期間を通じて各自で行うことになります。大会でのプログラム参加時等、管理が難しいこともありますので、必要最小限の金額を十分に考えてください。

小遣いの携行は、韓国ウォンの現金が適しています。今回の派遣では換金できる時間と場所がありませんので、各自で外貨両替の取り扱いのある銀行、オンラインサービスなどで両替を事前に済ませてください。担当旅行会社の派遣WEBサイトからも4月10日以降に申し込むことができます。

(9) 個人装備品

派遣準備訓練での説明と巻末リストに従い、各自で準備を進めてください。携行品は、兼用・代用できるものを考え、出来るだけ軽くするよう心がけてください。(巻末資料参照)

(10) 派遣準備訓練

派遣出発までに、少なくとも2回の派遣準備訓練を行います。派遣員内定者は、これらの派遣準備訓練に全期間参加することが必要です。派遣員としての決定は、これらの準備訓練参加を通じて派遣準備を整えた内定者に対して行われます。

派遣準備訓練は、隊(班)別に春休み(隊によっては5月の連休)に1回以上、また出発直前に出発地別に2泊3日を標準として実施されます。

準備訓練の経費はすでに納入された参加者負担金に含まれていますが、会場往復の交通費は自己負担となります。準備訓練の目的、内容については、巻末資料をご参照ください。

(11) 英語と韓国語

- ① 世界スカウトジャンボリー参加者の半数以上が英語を使う国民ですので、英語、とくに英会話の学習に力を入れましょう。また、訪問国である韓国からの参加者も多数いますので、韓国語のあいさつも覚えましょう。
- ② 発音、意味の違いはスカウトの交流には小さな問題なので、自分の学習している外国語を伸ばし、強化することが大切です、とくに英語や韓国語で生活する練習をしてみましょう。(例：日記を英語や韓国語で書く。1日のある時間を25WSJ会場で過ごすことを想定して外国語を使う。)
- ③ ジャンボリーハンドブック等の情報はできるだけ英語で読み、覚えるようにしましょう。(例：ジャンボリーの日程、地図、プログラムを英語で覚える。)
- ④ 日常生活で大切な基本語の使い方を覚えましょう。英語の場合：
Yes, please と No, Thank you (肯定と否定)
“Yes”, “No”を答えるときには、“Yes” のときは “Yes, please” と、“No” のときは “No, thank you” と答えましょう。
Thank you と Sorry (ありがとう、すみません)
After you (どうぞお先に)
Take care (気をつけて)
- ⑤ 英語と韓国語のあいさつと自己紹介を覚えましょう

課題

1. Nick name (お互いに呼び合う愛称を自分で決める)
2. 英語と韓国語で自己紹介をする
3. スカウト活動・家族・学校のことを英語と韓国語で説明する

(12) 日本と韓国のことを知る

世界スカウトジャンボリーには世界中のスカウトが参加します。皆さんが外国スカウトと交流したら、そのスカウトの国がどんな国か聞きたくなるのは当然です。同じように、交流した外国スカウトも日本がどんな国か聞いてきます。日本の人口、文化、首都、自分の住んでいる町、気候など、説明出来るように準備してください。

訪問国の韓国についても事前によく調べておくと、皆さんの韓国滞在で理解が深まります。

また、日韓両国の関係について、歴史を含めて理解しておいてください。以前は「近くて遠い国」と言われたこともありましたが、とくに両国のスカウトの関係は良好です。お互いを尊重し、「未来指向」で交流を深めることが重要です。

(13) 買い物・おみやげ

出発前に計画をたて、リストにしておきましょう。おみやげであれば、誰にあげるかを考えておきましょう。リストを作ったら、買い物の場所の見込みをたてましょう。今回の派遣では、25WSJ期間中のスカウトショップ等の売店となります。帰りの空港は、搭乗・出国手続きで時間が取れないこともあります。買い物が派遣の目的ではありませんので、買い物に精をだすことのないようにしましょう。

3. 出発直前にすること

(1) 健康の再チェック

派遣出発まで健康に気をつけ、体力をつけることが大切です。特に、出発2週間前からは暴飲暴食に気をつけ、体調をととのえ、風邪などを引かないようにしましょう。また、歯の治療が未処置ならば、すみやかに終わらせ、健康の再チェックをしましょう。

(2) 個人携行品の点検

携行品の重量を守り、個人携行品を点検し、忘れ物をしないとともにも不必要なものは持たないようにしましょう。

(3) 集合地まで・解散地からの交通手配

これは、各自で手配してください。宿泊、交通等予約が必要なときは、担当の旅行会社にご相談ください。

(4) 出発直前準備訓練

出発直前にそれぞれ出発直前準備訓練を出発空港最寄りの会場で行います。

準備訓練経費、そして出発直前準備訓練会場から出発空港までの移動は参加者負担金に含まれていますが、会場までの交通費は自己負担となります。

会場は、派遣日程表を参照してください。

集合、会場の詳細等については、追ってお知らせします。

(5) 結団式・壮行会

出発直前準備訓練会場で行う予定です。(C分団は前の週に実施)

これには、保護者や団関係者も実費で参加できるように計画しています。このご案内は、出発直前準備訓練の開催案内とともに6月下旬にお送りする予定です。

Ⅲ. 派遣期間中について

飛行機の移動は、文書を読むと難しそうに思いますが、指導者の方々や旅行会社の担当者が案内してくれますので、心配は必要ありません。しかし、皆さんはスカウトとして海外派遣に参加するのですから、ただついて行くのではなく、今何をしているのかを知って行動してください。今後自分で海外へ行くときにも役立ちます。

1. 搭乗・出国手続き

日本派遣団結団式で派遣員の任命を受け、派遣団員ネッカチーフを受け取ったスカウト・指導者は、派遣員内定者から正式な派遣団員となり、いよいよ派遣出発当日を迎えます。

派遣団は派遣日程表に示された日に I S T・分団別に出発直前準備訓練会場に集合します。ここからの経費は、帰国まですべて派遣経費に含まれています。

出発当日に空港に到着したら、ダッフルバッグと隊装備をバスから降ろし、利用航空会社のチェックインカウンター前へ運びます。隊装備は、所属の参加隊によって異なりますが、個人のダッフルバッグに分散して携行することがあります。(利用航空会社によっては、段ボール箱等に入れる場合があります)

空港では、利用航空会社のチェックインカウンターでチェックイン(搭乗手続き)を行います。ここでは、航空券(航空券は旅行会社が持参)とパスポートを見せ、飛行機の座席番号と搭乗時間・ゲートが書かれたボーディングパス(搭乗券)を受け取るとともに、ダッフルバッグと隊装備を預け、重量点検を受け、荷物の預かり半券を受け取ります。

搭乗手続きでは係員に荷物の内容物を聞かれる場合がありますので、自分の荷物と割り当てられた隊装備は、必ず自分で運ぶようにしてください。他の人の荷物では中に何が入っているか説明できなくなります。スカウトナイフ等刃物類は必ずダッフルバッグに入れてください。デイパック(手荷物)に入っていると機長預けになり、手続きに時間がかかるため隊の行動に支障が生じます。また、デイパック(手荷物)への、液体類等の持ち込みには制限があります。詳しくは、国土交通省のホームページ等で確認して、最新の情報を入手してください。荷物の半券は到着空港で荷物を受け取る時に必要ですので、紛失しないように注意してください。まとめて指導者に渡されることもあります。チェックインが終わるとパスポートと帰りの航空券が各自に渡されます。帰りの航空券は入国審査に必要なことがありますので、パスポートとともに各自で保管してください。(入国後の航空券の管理は隊長から説明されます)

次は、ボーディングパスを各自持ち、デイパック(手荷物)の検査(Security Check)を受けます。(空港によっては出国審査の後)次に申告するものがある人は税関(Customs)へ行き手続きを行います。通常はそのまま出国審査(Passport Control / Immigration)に向かいます。ここでは、1人ずつパスポートとボーディングパスを見せ、審査が終わるとパスポートに出国のスタンプが押されます。審査は混み合うことがありますので、空いている列に並んでください。審査が終わったら、広い所で隊の全員が終わるのを待ちましょう。ここは、日本にいながらもう免税店がある日本を出国した場所になります。パスポートはきちんとしまってください。そして、いよいよ搭乗ゲートへ向かいます。隊でまとめて移動し、搭乗口を確認しましょう。飛行機に搭乗する直前に再度パスポートの提示を求められる場合があります。パスポートは求められたらすぐに提示できるようにしておきましょう。

空港では、時間に遅れないよう早めの手続きが必要です。早く手続きが終わって時間がある場合は、指導者と旅行会社の担当者が相談して、一時解散することがあります。この時は荷物当番を決める等、管理を行う必要があります。また、再集合の時間と場所を間違えないようにしましょう。個人での行動はつつしみ、班単位で行動をしてください。

2. 飛行機で

飛行機の中では、制服がクシャクシャにならないように心がけてください。今回の移動は、短時間のフライトですので、Tシャツ等になる必要はありません。もし着替えが必要な場合は、他のお客さんから目立たないようにトイレ等で行ってください。このときもパスポートは身体から離さないようにしてください。前の座席にポケットに入れたりすると、飛行機を降りるときに忘れてしまうことがありますので注意してください。

当然のことですが、機内では他の乗客に迷惑をかけないよう気をつけてください。

3. 韓国到着

飛行機を降りる前に、パスポートを持っているか確認しましょう。飛行機を降りた直後にパスポートの提示を求められる場合もありますので、すぐに提示できるようにしておきましょう。

韓国に到着したら、指導者の先導で「ARRIVAL」と表示された方向に向かいます。空港では、スカウト関係者以外に大勢の方がいます。間違った方向へ行かないように、指導者の指示に従い、隊または班でまとまって移動してください。

最初に入国審査 (Passport Control / Immigration) があります。ここでは係員に1人ずつパスポート、税関申告書、ボーディングパスと帰りの航空券を見せます。滞在日数や入国目的を聞かれたら、参加隊の場合「Fourteen days」「Sightseeing and World Scout Jamboree」等と答えてください。ここで税関申告物についても質問されます場合があります。食べ物などが荷物にあるか聞かれた場合は正確に答えてください。この他、顔写真の撮影と両手の指紋のスキャンも行われますので、係員の指示に従ってください。手続きが終わったらパスポートに入国のスタンプを押してくれます。入国手続きは大変混み合うことがありますので、空いている列に並んでください。

入国審査が終わったら、その場で待つことなく、出発空港で預けたダッフルバッグ等の荷物を受け取るターンテーブル (Baggage Claim) へ進んでください。ターンテーブルはいくつも並んでいますが、自分が乗ってきた航空便の番号が示されますので、間違えないようにしてください。

ターンテーブルに荷物が出てきたら、自分の隊のダッフルバッグと隊装備を受け取ります。ダッフルバッグには出発直前準備訓練でつけた分団・隊別の目印がつけられていますので、隊で全員の荷物を集めてください。このとき、他の方々に迷惑がかからないようにダッフルバッグは「#」(いげた) に数段積み上げる等で広げ過ぎないようにしましょう。

ここで隊の全員が入国審査を済ませ集合しているか再確認してください。そして自分の荷物は自分で運んでください。なぜなら、次に税関 (Customs Inspection) があるからです。空港に備え付けのカーポートで数人の荷物を運ぶときも、その荷物の持ち主と一緒に移動します。班に割り当てられた隊装備を運ぶ場合は、中に何が入っているか確かめてください。

さて、いよいよ税関です。係員に税関申告書 (Customs Declaration) を渡しましょう。係員に荷物の内容を聞かれることもあります。スカウトは「ノーチェック」ということはありません。甘い期待もたずに間違えのないように用意するのが、スカウトの務めです。

税関が終わると、いよいよ到着ロビーに出ます。そこでは大会バスに乗る隊と担当の旅行会社が手配したバスに乗る隊がありますので、自分の隊の行動を日程表で確認してください。どちらのバスであっても、自分たちの荷物は自分たちで運び、貸切バスに積み込んでください。

到着ロビーには銀行の窓口があり、換金ができますが、大勢が限られた窓口で換金すると大変時間がかかりますので、ここでは換金しないでください。本当に必要な場合は引率指導者に相談してください。事前申し込みにより、日本出発前に換金を済ませてください。

4. 宿泊施設で

日本派遣団は、航空便の関係で25WSJの前か後に全員がソウル市内または周辺に1泊します。(C分団は2泊) 貸切バスが宿泊施設に到着したら、自分たちで荷物を下ろします。

宿泊室のチェックインは隊単位で指導者と旅行会社の担当者が行います。その間、スカウトは決められた場所を離れないでください。手続きが終わると、部屋番号が書かれたルームキー（またはカードキー）が渡されます。数人で1部屋となりますので、各自で部屋番号をメモしてください。

このときに、翌日までの予定が連絡されます。食事の時間と場所、注意事項、指導者の部屋番号、翌日の出発時間と集合場所等、各自でしっかりと記録してください。

次に、各自でダッフルバッグと班に割り当てられた荷物を持って入室してください。入室したらルームキーをドア内側のキーポケットに入れないと電気やエアコンがつかない部屋もあります。そして、すぐに非常口を確認してください。部屋を出るときは、必ずルームキーを持ってでてください。オートロックで外からは鍵なしで開けられない部屋があります。同室の人と別れて行動する必要がある場合は、フロントにルームキーを預けましょう。そうすると早く部屋に戻る人がフロントでルームキーを受け取れます。到着日はできるだけ早く寝るようにしましょう。

室内の電話を使ったり、冷蔵庫の中のを飲んだりすると、翌日にチェックアウトのときに代金を支払わなければなりません。精算に時間がかかり、隊の移動に影響することがありますので、必要以外の利用はひかえましょう。

5. 25WSJ大会期間中

大会期間中は日本派遣団の行動指針（5ページ参照）にのっとって行動するようにしてください。

また、日本派遣団は日本の法律、韓国の法律、25WSJで定められている規則を遵守して行動することを確認してください。(指導者は喫煙、飲酒等も)

サイト内は、常に整理整頓を心がけ、サイトを離れる時はテントに南京錠で施錠するなどして無駄なトラブルを防ぐようにしてください。

6. 25WSJ終了後

参加隊と同行本部員は、8月11日（金）の閉会式後、8月12日（土）午前0時以降、午前中には25WSJ会場から仁川空港に大会シャトルバス、または金浦空港に日本派遣団手配のバスで移動します。ISTと同行本部員は8月13日（日）が退場日となります。

マナーについて

飛行機でのマナー

- 離陸、着陸、食事中は座席を倒さない（安全上のことです）
- 「FASTEN SEAT BELT」のサインが出ているときは座席のベルトを着用する（サインが出ていないときも急に揺れることがありますので、安全のため座席ベルトを着用してください）
- 他の乗客のことも考え、個人的な都合だけで行動せず、十分に休養をとる

宿泊施設でのマナー

- ロビーや廊下では騒がない（他のお客さんの迷惑になります）
- スリッパや寝間着で廊下に出ない（廊下は外だと考えましょう）
- 宿泊施設内は走らない
- 宿泊室にバスタブがある場合、お風呂のカーテンはスソをバスタブの内側に（シャワーの湯が外に出ないようにするためです）
- 浴槽の水はあふれさせない、浴槽の外で体を洗わない（部屋のカーペットを濡らしたり、下の階へ伝わっていったりし、賠償を求められることがあります）
- 部屋に風呂がありタオルが数枚用意されている場合、浴槽にかかっているタオルは足ふき用、大きなタオルは湯上がり用、中位のタオルは顔ふき用、一番小さいのが体洗い用（ホステルによっては用意されていない）
- ドアチェーンをかけておく（在室中は安全のため）
- オートロックに注意する（部屋を出るときは鍵もって）

レストランで食事をする場合

- 席が決められているとき以外は、空いている席に勝手にすわらない（案内されます）
- スープは音をたてないで飲む
- 食卓では手が届かないところにあるものは自分で取らない（近くに人をお願いして取ってもらう）
- ナイフやフォークが沢山並んでいるときは、外側から使う。
- 食事途中でナイフとフォークを置くときは「ハ」の字に、食事が終わったらナイフとフォークの持つところを右斜め下にそろえて皿の上に（この向きで食事中かどうかがわかります）

その他のマナー

- ゴミのポイ捨ては厳禁（どこの国でも当然です）

これらは代表的なマナーですが、他のマナーについても自分で調べて実践しましょう
（自分で調べたマナーをメモしましょう）

飲料水

25WSJ会場の水道が飲むことが出来ると言われていますが、出来るだけミネラルウォーターを飲んでください。ペットボトル入りミネラルウォーターは、コンビニエンスストアやキオスク等で購入できます。

生水でお腹をこわさないように注意しましょう。

7. 帰国を前にして

(1) 持ち帰らないもの

法律に反するもの（麻薬・銃刀・成人向け雑誌写真等）を確認し、それに反することのないよう自覚することが必要です。法律違反ではありませんが、未成年者には認められない酒・煙草は、保護者へのおみやげにも持ち帰らないようにしてください。これらは、日本の空港で税金を払えば持って帰れますが、帰国したときの手続きに時間がかかり、隊の行動に支障をもたらします。動植物検疫を要するものも同様です。

(2) 個人携行品

税関のチェックを受けたときに、すみやかに処理できるように荷物の整理をしておきましょう。往路と同じく18Kg以内にまとめます。

(3) 服装

出発したときと同じ制服・ネックチーフとキャップで帰国します。外国スカウトとの交換や紛失により、服装の乱れが生じないように特に気をつけてください。

8. 帰国まで

日本から出発したときと同様、チェックイン（搭乗手続き）を行い、ボーディングパスとチェックイン荷物の半券を受け取ります。そして、手荷物検査を行います。そして搭乗ゲートに向かう途中に出国審査があり、パスポートとボーディングパスを見せ手続き済ませます。買い物や換金が必要な場合は、指導者に相談して時間に余裕をみてください。

全員が手荷物検査を終えたら集合し、指導者の指示により、時間が許せば再集合の時間まで最後の買い物ができます。残った外貨は、空港に銀行がありますので換金ができます。決められた時間に再集合したら、出国審査を行い、搭乗ゲートに向かいます。搭乗ゲートでは時間がかかることがありますので、再集合は早めに行ってください。

9. 日本到着

(1) 到着空港で

検疫、入国審査、チェックイン荷物（ダッフルバッグ等）受け取り、税関の手続きを行います。往路と同様「ノーチェック」ということはありません。甘い期待をもたずに、スカウトの務めをはたしましょう。

(2) 解団式

成田、羽田、中部、関西、福岡の各空港で到着したグループごとに解団（隊）式を行い、解散となります。空港から自宅までの交通や宿泊は各自で手配が必要です。担当の旅行会社でも手配と斡旋してくれます。

メモ：解団（隊）式の日時・場所

10. 帰国した後

（1）記録を整理する

派遣期間中にできる記録はとっておき、帰国後すぐに確認と整理をすることが大切です。1週間放っておくと整理がつかなくなってしまうます。

（2）派遣団（隊）報告書

派遣準備訓練で報告書の編集を話し合い、帰国後すぐにとりかかります。

～ 巻 末 資 料 ～

25WJ個人装備品、派遣支給品と発送予定、万々に備えて、スマートフォン、標準個人装備品リスト、準備訓練、世界スカウト機構加盟国と加盟員数、ジャンボリー会場の気候、日本連盟の世界スカウトジャンボリー参加状況（第16回以降）

1. 個人装備品

派遣に必要な標準的な個人携行品は、22ページの「25WSJ派遣標準個人装備品リスト」に示しますので、これに基づき準備をおすすめてください。なお、リストにある装備品のうち、兼用・代用できるものについては、各自で工夫して出来るだけ重量を少なくしてください。詳細は、隊別準備訓練等で説明があります。

携行品は、ダッフルバッグ〔(1)参照〕と航空機内に持ち込める派遣団デイパック（支給品）の計2個に入れることとし、派遣団の行動を考慮し、ダッフルバッグの重量を合計18kg以内に制限します。各自は体力や体格を考慮し必要に応じて18kgより軽くしてください。

(1) ダッフルバッグ

今回の派遣では、派遣団の行動を考慮し、ダッフルバッグの使用を奨励します。家族や友人などが海外派遣で使ったダッフルバッグをお持ちで借用が可能な場合は、それを使用することができます。

市販のキャスター付きのダッフルバッグや21WSJ（イギリス）派遣で使用したものも使用出来ます。どのようなバッグで携行するかは隊別準備訓練で所属の参加隊隊長に確認してください。

ジャンボリー会場の入退場日は、バス乗降地からキャンプサイトまで徒歩移動が必要となり、荷物を背負って移動する必要があります。舗装路ではありませんのでスーツケースは使用できません。また、アタックザック（登山に使用する縦長のリュックサック）は、ザック外側のひも、金具、ストラップ類が空港に預けられた他の荷物に引っかかり、ストラップが切れる、留め具が壊れる、ポケットやクッション部に穴が開くなどのケースが多く、アタックザックも派遣には適しません。

ダッフルバッグは両肩で背負えるか、ベルトで片肩に掛けて自力で搬送できるものを選んでください。ダッフルバッグの容量は指定しませんが、重量を18kg以内にするため、60リットルから80リットル程度のものから移動距離を考慮し自身の体力や体格に併せてを選んでください。

2. 派遣支給品と発送予定

今回の派遣では、派遣経費の中から次のものを支給します。支給品の一部は、隊（班）別準備訓練等の機会を通じてお渡しします。

<6月下旬頃に本人あて宅配便でお送りするもの>

- | | |
|----------------|---|
| ① 日本派遣団キャップ | 1 |
| ② 派遣団半天 | 1 |
| ③ 派遣団デイパック | 1 |
| ④ 日本派遣団マークワッペン | 2 |
| ⑤ ラゲージタグ | 1 |

<出発直前準備訓練でお渡しするもの>

- | | |
|---------------------|---|
| ① 名札・ネックストラップ | 1 |
| ② 派遣団ネッカチーフ（結団式で支給） | 2 |

(1) 派遣団キャップについて

今回の派遣では、支給する派遣団キャップを派遣員の派遣期間中の正装としますので、ハットを持参する必要はありません。

3. 万一に備えて

パスポート(旅券)は絶対に紛失しないよう注意してください。万一、日本出国後に旅券を盗難・紛失された場合は、最悪の場合、それ以降の旅行並びに大会参加ができなくなる場合があります、その後の交通費(新たな航空券購入費用など)自己負担になります。

紛失、盗難にあつてパスポートがなくなった場合、先ず最寄りの警察に届出て、盗難・紛失を届出たことを証する書類を入手の上、ソウルの日本大使館で以下の手続きのいずれかを行い、本人が手数料ならびにそれに掛った費用(交通費、宿泊費等)を支払うことになります。

- ① 紛(焼)失時の旅券発給手続き ② 帰国のための渡航書発給手続き

いずれの場合も、写真2葉(縦 4.5cm×横 3.5cm、縁なし、顔の縦の長さ 3.4cm 程度、正面、無帽、無背景、過去6か月以内に撮影された名義人のみが写っているものとする。カラー、白黒どちらでも可。顔の寸法は頭頂から顎まで。デジタル印刷の場合で、ドットが粗いものや、ノイズがあるものは不可。フォトブースで撮影したものは、規格外になる場合があるため原則不可、そして、日本国籍が確認できる書類(6か月以内に発行された戸籍謄(抄)本1通)が必要となります。万一に備えて、パスポートとは別に携行してください。

4. スマートフォン(スマホ)の利用

25WSJ会場には、Wi-Fi(ワイファイ)が殆どの場所で使える見込みです。25WSJではスマホ用のアプリが公開され、様々な情報が提供されます。

スマホを持参する場合は、自分の責任で管理する必要があります。故障や盗難は、大会でも日本派遣団でも責任を負うことが出来ませんので、注意してください。

スマホの充電は、太陽光で充電するソーラーチャージャー・モバイルバッテリー等が役立ちます。会場には、モバイルバッテリーの充電設備が設置される予定ですが、鍵がかかる場所ではありませんので、他の人に間違えて持ち帰られないようにする必要があります。

モバイルバッテリーを持参する場合、航空機で移動するときは、ダッフルバッグ等の預け入れ荷物には入れられません。必ずデイバック等に入れ、機内持ち込みにする必要があります。

今回の派遣で利用する航空会社は、現時点で容量160Wh以下のモバイルバッテリーを2個まで持ち込むことができますが、容量や個数の制限は変更されることがありますので、自分が利用する航空会社の条件をホームページで事前に再確認してください。

また、国際電話は大変高額となりますので、Wi-Fiを使って通話する等、工夫してください。

スマホの持参と利用については、隊別準備訓練等で参加隊の指導者に確認してください。

25WSJ 派遣標準個人装備品リスト

(2023年3月現在)

携行品は、下記に示すダッフルバッグ及び支給する派遣団デイパックに収納することとし、ダッフルバッグの重量を合計18kgに制限します。各自で兼用・代用できるものを工夫し、重量をできるだけ少なくしてください。

本リストについては、隊別準備訓練で隊長から説明があります。質問、相談は、所属参加隊の隊長または担当指導者へお願いします。各装備品の数量等は派遣日程を見て各自で判断してください。また、今後の大会情報等により変更されることがありますので、最新のもので準備を進めてください。

大会で使用するテント、炊具等、その他隊装備については、今後隊長を通じて連絡されます。

No.	装備品名	区分	備考	点検
-----	------	----	----	----

[1] 制服（正装）

1	派遣団キャップ	支給品	今回の派遣では、支給されるキャップを正帽とする（ハットは持参しなくてよい）	
2	派遣団ネッカチーフ	支給品	結団式時に支給する日本派遣団員用のもの	
3	自隊ネッカチーフ	各自使用のもの	派遣団ネッカチーフが支給されるまで着用する	
4	ネッカチーフ止め	各自使用のもの		
5	制服上衣 (予備も持参する)	各自使用のもの	正しい記章、標章類をつける	
6	制服長ズボン (予備も持参する)	各自使用のもの		
7	ベルト	各自使用のもの	指定のもの	
8	ウィンドブレーカー	各自使用のもの		
9	靴	各自使用のもの		

[2] ザック類

1	ダッフルバッグ	各自で揃えるもの	* 県連盟で別途揃える場合がある	
2	仕分け袋	各自で揃えるもの	携行品の仕分け、整理用	
3	派遣団デイパック	支給品	機内持ち込み用（各プログラム参加、及び移動時にも使用する）	
4	南京錠	各自で揃えるもの	ダッフルバッグ、現地ではテントに使用ダイヤル式のTSAロックが望ましい	
5	荷物タグ	各自で揃えるもの		

[3] 活動用品

1	Tシャツ・ポロシャツ	各自で揃えるもの	大会期間中の活動時に隊で決めて着用できる	
2	派遣団半天セット（催し物衣裳）	支給品	大会中の催し物で着用する	
3	軽装ズボン・作業用ズボン（ジーンズ可）	必要に応じて		
4	雨合羽上下	各自で揃えるもの	できるだけ小型軽量のものが望ましい	
5	運動靴 軽量なもの	各自で揃えるもの	活動用、履き替え用として軽量のもの	
6	ウォーターシューズ、アクアソックス等（ビーチサンダルは安全上不可）	各自で揃えるもの	水泳・シャワー用（夏以降はあまり販売されていないので早めに用意する）	
7	水着	各自で揃えるもの		
8	作業帽（日よけ帽）	必要に応じて		
9	作業用手袋（軍手）	各自で揃えるもの		
10	外国スカウトとの交換品	各自で揃えるもの	記念ワッペン・絵はがき・おりがみ等日本的なもの	

[4] 野営生活関係

1	寝袋	各自で揃えるもの	朝晩はかなり冷え込む事に留意する できるだけ小型軽量のもの	
2	シュラフシーツ・シュラフカバー	各自で揃えるもの		
3	エアーマット等（軽量のものが多い）	各自で揃えるもの	エアーマット又はロールマット（大会でマットが用意される予定であるが、自分のものも用意した方がよい）	
4	シート	各自で揃えるもの	ピクニックシート等	

No.	装備品名	区分	備考	点検
5	懐中電灯（電池共）	各自で揃えるもの	小型軽量のもの	
6	食器セット（防水袋入り）	各自で揃えるもの	手付コップ・三ツ組スプーンセット 洋皿（深・浅2枚が良い）	
7	水筒	各自で揃えるもの	機内持ち込み不可、現地でのみ使用する ため、航空機移動の際は中を空にしてダッフル バッグに入れておく（材質によって ペットボトルで代用可能な場合がある）	
8	ポケットナイフ	必要に応じて	機内持ち込み不可、現地でのみ使用するた	
9	ロープ	必要に応じて	太さ4-6mm ・7-8mm のもの	

[5] 身辺用品

1	下着類	各自で揃えるもの	パンツ・Tシャツ等	
2	パジャマ	各自で揃えるもの		
3	トレーナー、セーター、フリース 等	各自で揃えるもの	活動用・防寒用として （洗濯可能なものが望ましい）	
4	靴下	各自で揃えるもの		
5	ハンカチ、ティッシュ	各自で揃えるもの		
6	洗面セット（防水袋入り）	各自で揃えるもの	歯ブラシ・歯ミガキ・くし・鏡・ひげそ り・石けん等 航空機内への液体物持込に は制限がある	
7	タオル類	各自で揃えるもの	洗面タオル・バスタオル	
8	洗濯用品	各自で揃えるもの		
9	裁縫セット	各自で揃えるもの	針・糸・ボタン・安全ピン等 機内持ち込み不可のため、ダッフルバッグ にしておく	
10	持薬・生理用品・救急用品	各自で揃えるもの	個人用のもの	

[6] 渡航関係書類・筆記用具等

1	パスポート	必ず持参する	忘れると参加できない	
2	外貨	必要額	換金方法は別途案内がある	
3	海外旅行傷害保険カード又は契約 証	何らかの保険を必 ず付保する	担当旅行会社を通じて申し込んだ場合は出 発直前準備訓練で渡される	
4	筆記用具	各自で揃えるもの	ボールペン2-3本、ノート等	
5	スカウト手帳	必要に応じて		
7	資料	必要なものを選択 する	派遣資料、大会資料、現地資料等、各自必 要なものを重くならないように工夫をする	
8	英語辞書	必要に応じて	携帯用小型（和英・英和兼用）	
9	ガイドブック	必要に応じて	訪問国のガイドブック （地図付きが良い）	
10	名刺	必要に応じて	各自で作成する	

[7] 各自の選択による携行品

1	カメラ	必要に応じて	現地では充電出来ないことが多い 高価なものはさけること できるだけ小型・軽量のものがよい	
3	家族の写真（必要に応じて）	必要に応じて		
5	スカウト歌集	隊長と相談の上		
7	特技・文化紹介用具	隊長と相談の上	柔道着・剣道着・道具・ゆかた、楽器等	
8	記章・標章類	隊長と相談の上	予備つけかえ用	

準備訓練

<第1回準備訓練・隊別準備訓練基本要項>

1. 日本派遣団の派遣目的と目標

(1) 派遣目的

- ① 第25回世界スカウトジャンボリーに日本のスカウトの代表として参加する。
- ② 世界のスカウティングを体得する。
- ③ 日本と訪問国の国際親善に、日本の青少年の一人として貢献する。
- ④ 個人の派遣目標をたて、それを達成する。
- ⑤ その他

(2) 派遣目標

- ① 派遣団相互の友情と理解を築く。
- ② 国際友情と国際理解を深める。
- ③ 日本に対する理解の高揚に資する。
- ④ 外国の生活体験を通じて日本（特に文化・伝統・価値観等）のことを考える。
- ⑤ 国際性豊かな責任ある社会人となるための人間形成に努める。
- ⑥ 個人の派遣参加目的を実現する。
- ⑦ その他

2. 派遣準備訓練の目的と主眼

(1) 準備訓練の目的

派遣団の派遣目的・派遣目標を達成するために必要なこと、また、派遣準備をいかに進めるかを体験学習により理解・体得させ、派遣スカウトの資質の向上を図る。

(2) 準備訓練の主眼

- ① スカウト一人ひとりをよく理解する。
スカウトをよく観察すると共に、必要に応じて面接し、性格、趣味、特技、自覚度等に関することを把握する。
- ② スカウトとコミュニケーションをはかり、よい人間関係、相互信頼、チームワーク作りをする。
- ③ 派遣スカウトに必要な知識、技能、心構えについて基本的な訓練を行う。
- ④ 準備訓練に積極的に参加し、その間あらゆる機会に自己研修に努めるよう激励する。

3. 準備訓練の基本方針

「秩序ある楽しい準備訓練とする」

- 原理原則的なもの、決められたルールは必ず守る（守らせる）
- 他人に迷惑をかけない
- 相互理解を深め、よき人間関係の樹立に努める
- 自発活動の励行（指示待ちが多い）
- スマートネスに心がける（規律、正しい清潔な服装、節度ある行動と動作等）

4. 指導者の心構え

- ① 模範的な行動を示す ---- スカウトは絶えず注目している。
指導者の人格と熱意の結びつきが、準備訓練、派遣を成功させることを十分に考えなければならぬ。
- ② 自己の任務をよく理解し、積極的に果たす。
- 指導者の相互理解を深め、チームワークを第一と心得て、各自の役務に忠実に果たす。
- 指導者の不和は、必ずスカウトの態度にも反映し、大きな影響を及ぼす。
- ③ スカウトをよく観察し理解する。
- ④ 正しい規律、秩序、スマートネスを心掛ける。

5. 隊・班編成

準備訓練の隊・班編成は、大会における編成を考慮する。

- (1) 隊編成
- | | |
|------|-----------------------|
| 隊長 | 1人 |
| 副長 | 3人（うち1人が副長補の隊もある） |
| スカウト | 1班9人 x 4班 = 36人 合計40人 |

(2) 班編成

各隊は1コ隊9人からなる班、4コ班をもって編成される。

各隊の班編成は、隊長に一任される。

隊長は、班編成にあたり次の諸点に留意する。

① 班長・次長の選任にあたって

- | | |
|-----------|-------|
| - 高学年 | - 行動力 |
| - 進級 | - 企画力 |
| - リーダーシップ | - 快活性 |
| - 協調性 | - 渉外力 |
| - フォローシップ | |

② 班編成の留意点

- | | |
|---------------|-------------|
| - 地域性 | - 英会話力のバランス |
| - 学年のバランス | - 体力のバランス |
| - スカウト技能のバランス | - 特技 |
| - 総合力のバランス | - 趣味 |

特にベンチャー年代のスカウトの班編成にあたっては、スカウト相互と指導者の十分な話し合いと、よき相互信頼、コミュニケーションが大切である。

班の他、委員会（通常のベンチャー隊などに設置される委員会）は、隊内に設置することができる。海外派遣の成否は、隊・班編成にかかわる処が大である。

6. 第1回派遣準備訓練の実施にあたって

- ① 第1回派遣準備訓練は、3月の春休み・5月連休等に各隊で日程・場所を定め自主的に実施する。（場所と時間が決定したら日本連盟事務局に報告する）
- ② スカウトからの追加経費の徴収を一切行わない。
（日本連盟が徴収する参加者負担金から一定額が配分される）
- ③ 訓練日程は、この基本要項に示された内容を満たすように分団長・副分団長と相談のうえ隊独自に編成することができる。
- ④ 準備訓練実施にあたっては、各隊指導者の十分な事前研究と自主準備が期待される。
- ⑤ 分団長・副分団長は訓練課目について、適切な指導と助言を行う。
- ⑥ 25WSJソングは準備訓練期間中に全員が必ずマスターできるよう指導する。（発表されている場合）交歓用の歌、踊り、ゲーム等についても準備訓練に多く取り入れ、習熟に心掛ける。隊交流等緒の訪問先で披露を求められることも多く、隊としてスマートに披露できるものがあると良い。また、これらの練習は隊のチームワーク作りに繋がる。

<出発直前準備訓練基本要項案>

1. 出発直前準備訓練の実施

派遣団長、副団長の指導、助言のもとに、出発地別に運営する。

(1) 国立オリンピック記念青少年総合センター（NYC）

- | | | |
|-------|-------------------|------------|
| <IST> | 7月28日（金）～7月29日（土） | 7月29日（土）出発 |
| <A分団> | 7月29日（土）～7月31日（月） | 7月31日（月）出発 |
| <B分団> | 7月30日（日）～8月1日（火） | 8月1日（火）出発 |

(2) 春日井市少年自然の家（C分団6隊）

- | | | |
|-------|-------------------|------------|
| <C分団> | 7月29日（土）～7月30日（日） | 7月30日（日）出発 |
|-------|-------------------|------------|
- 結団式・壮行会は7月17日に
刈谷市産業振興センターで

- (3) 大阪府立少年自然の家 (D分団の第26～29隊)
 <D分団> 7月29日(土)～7月31日(月) 2隊 7月31日(月) 出発 (第28・29隊)
 7月30日(日)～8月1日(火) 2隊 8月1日(火) 出発 (第26・27隊)
- (4) 大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター (D分団の第23～25隊)
 <D分団> 7月30日(日)～8月1日(火) 8月1日(火) 出発
- (5) 新大阪ユースホステル・KOKOLLAZA
 <E分団> 7月29日(土)～7月31日(月) 7月31日(月) 出発
- (6) 福岡県社会教育総合センター
 <F分団> 7月30日(日)～8月1日(火) 8月1日(火) 出発

2. 準備訓練項目

- (1) 健康の再チェック
 - (2) 個人携行品の点検 (必ずパスポートの持参を到着時に確認)
 - 忘れ物はないか。不必要なものはないか。
 - 携行品の重量は18Kg以内か。
 - (3) 隊装備品の点検と梱包
 - (4) 各隊催し物の実演訓練
 - (5) 服装点検と指導
 - 正しく制服を着用しているか。
 - 正しく記章、標章類がついているか。
 - (6) 個人テーマの確認
 - 各班、各人が参加にあたっての明確なテーマをもっているか。
 - (7) 報告書の作成 (案)
 - 年度事業であるため年度内の出来るだけ早い時期に発行する
 - 各隊のページは2～4ページの見込み
 - 各隊から集合写真1枚、
 - スナップ写真 (25WSJ隊サイト、活動中、移動・車窓見学) 各1枚
 - 写真の提出期限は帰国後2週間以内
 - 参加者の感想文 (1人400字程度) 帰国時に空港で提出 (隊別報告書作成の場合)
 - 各隊でそれぞれの経費により作成する場合は、日本連盟に2部以上提出する
 - (8) 買い物リストの作成
 - 出発前に計画を立て、リストを作成する。
 - 土産は、誰にあげるのかを考えておく。
 - 小遣いの金額は必要最小限か。
 - 買い物が派遣の目的ではない。
 - (9) 帰国時の指導
 - 重要書類の配布は本人の受け取りを確認する。(車中、睡眠中等要注意)
 - 法律に反するものを持ち帰らない。
 - 未成年者の土産品として、酒、タバコの購入は認められない。
 - 税関検査に迅速に対応できるよう荷物を整理する。
 - 荷物の重量は、往路と同じにまとめる。
 - 出発時と同じ服装(ユニフォーム・キャップ・ネッカチーフ)で帰国する。
 - (10) 派遣日程
 - 日程の最終手配内容の確認。
 - (11) 渡航手続き
 - パスポートの確認
 - 海外旅行保険、任意分申込者の携行の確認
 - 出入国カードの記入署名 (パスポートと同じ署名)
 - 緊急連絡先の確認
- < 指導者への確認 >
- 航空券の受け取り
 - ホテル等手配のバウチャー等受け取り
 - 各隊携行外貨の確認

担当旅行会社からの説明

【参考】

25WSJ 準備訓練開会式次第（案）

(式次第)

- 1) 開式のことば (司会・本部員：)
 - 2) 国旗儀礼
 - 3) 国歌斉唱
 - 4) 同行本部員、サービスチーム員の紹介 ()
 - 5) 派遣団長または分団長の挨拶
 - 6) 連盟歌斉唱
 - 7) 閉式のことば
- ・・・ 続いてオリエンテーション ・・・

25WSJ 結団（隊）式次第（案）

(式次第)

- 1) 開式のことば (司会・本部員：)
 - 2) 国旗儀礼
 - 3) 国歌斉唱
 - 4) 来賓の紹介
 - 5) 派遣団指導者とスカウトの任命 ()
 - 6) 派遣団ネッカチーフ授与 ()
団長または分団長 → 隊長 → 隊員
 - 7) 日本連盟の挨拶 ()
 - 8) 派遣団長（または分団長）の答辞 ()
 - 9) 連盟歌斉唱
 - 10) 閉式のことば
- ・・・ 続いて壮行会 ・・・

25WSJ 壮行会の進行（案）

- (進行) (司会・本部員：)
- 日本連盟の挨拶 ()
- 分団長の挨拶 ()
- － 懇談
- 各隊の紹介（自己紹介）
- 激励の言葉
- 事務連絡
- まとめの言葉

世界のスカウト人口

世界スカウト機構加盟国と加盟員数

1907年にイギリスで始まったスカウト運動はすぐに世界中に広まり、現在では5,700万人以上のスカウトたちが活動しています。

スカウト活動が行われていないのは、アンドラ、中国、キューバ、北朝鮮、ラオスの5か国のみ。2022年にアンティグア・バーブーダが加盟し、現在、世界スカウト機構(WOSM)には173の国と地域のスカウト組織が加盟しています。

[正加盟] **173**の国と地域 / [合計] **5,700**万人以上

アジア太平洋地域 Asia-Pacific Region	ヨーロッパ地域 European Region	アラブ地域 Arab Region	アフリカ地域 Africa Region	インターアメリカ地域 Interamerica Region
33,849,979人/30か国 事務局: フィリピン	1,883,298人/40か国 事務局: スイス	457,442人/19か国 事務局: エジプト	4,598,943人/40か国 事務局: ケニア	2,017,477人/35か国 事務局: パナマ
アフガニスタン 12,475 インド 3,743,997 インドネシア 25,166,325 オーストラリア 66,008 カンボジア 59,275 キリバス 1,178 シンガポール 11,957 スリランカ 64,807 ソロモン諸島 575 タイ 751,342 韓国 24,379 台湾 54,947 日本 85,966 ニュージーランド 18,197 ネパール 70,937 パキスタン 520,667 バブアニューギニア 5,487 バングラデシュ 2,210,674 東ティモール 6,669 フィジー 1,395 フィリピン 662,052 ブータン 59,672 ブルネイ 1,775 ベトナム 6,997 香港 85,904 マカオ 2,363 マレーシア 129,315 ミャンマー 2,102 モルディブ 10,938 モンゴル 11,604	アイスランド 1,738 アイルランド 45,721 イギリス 504,968 イスラエル 57,819 イタリア 103,231 エストニア 1,106 オーストリア 22,687 オランダ 52,509 キプロス 4,407 ギリシャ 15,173 クロアチア 3,029 サンマリノ 273 スイス 25,554 スウェーデン 40,947 スペイン 66,346 スロバキア 7,465 スロベニア 6,691 セルビア 3,474 チェコ 68,802 デンマーク 50,918 ドイツ 122,127 トルコ 223,417 ノルウェー 16,940 ハンガリー 12,937 フィンランド 54,829 フランス 108,463 ブルガリア 340 ベルギー 119,172 ポーランド 35,939 ボスニア・ヘルツェゴビナ 2,493 ポルトガル 77,352 マケドニア 2,957 マルタ 3,640 モナコ 133 モンテネグロ 1,509 ラトビア 963 リトアニア 3,004 リヒテンシュタイン 738 ルーマニア 6,120 ルクセンブルク 7,367	アラブ首長国連邦 8,983 アルジェリア 68,774 イエメン 8,250 イラク 13,128 エジプト 71,999 オマーン 20,217 カタール 6,220 クウェート 6,298 サウジアラビア 18,737 シリア 12,990 スーダン 15,470 チュニジア 15,403 バーレーン 3,185 パレスチナ 87,081 モリタニア 3,790 モロッコ 23,195 ヨルダン 31,873 リビア 22,801 レバノン 19,048	アンゴラ 23,941 ウガンダ 116,098 エスワティニ 4,302 エチオピア 105,767 ガーナ 16,231 カーボベルデ 337 ガボン 3,736 カメルーン 16,872 ガンビア 15,582 ギニア 8,555 ギニアビサウ 9,698 ケニア 2,248,000 コートジボワール 21,495 コモロ 3,295 コンゴ民主共和国 141,338 サントメ・プリンシペ 1,398 ザンビア 29,621 シエラレオネ 24,535 ジンバブエ 21,244 セーシェル 286 セネガル 10,335 タンザニア 538,959 チャド 14,500 トーゴ 10,929 ナイジェリア 750,073 ナミビア 3,909 ニジェール 3,305 ブルキナファソ 7,674 ブルンジ 85,252 ベナン 7,876 ボツワナ 19,242 マダガスカル 49,970 マラウイ 107,475 南アフリカ 96,881 南スーダン 11,300 モーリシャス 2,483 モザンビーク 8,692 リベリア 7,841 ルワンダ 49,374 レソト 542	アメリカ合衆国 1,599,740 アルゼンチン 62,635 アルバ 438 アンティグア・バーブーダ — ウルグアイ 2,122 エクアドル 8,124 エルサルバドル 1,454 グアテマラ 217 カナダ 75,991 キューソー 1,065 グアテマラ 3,908 グレナダ 1,378 コスタリカ 17,698 コロンビア 14,362 ジャマイカ 198 スリナム 787 セントビンセント・グレナディーン 253 セントルシア 393 チリ 29,518 ドミニカ 452 ドミニカ共和国 1,476 トリニダード・トバゴ 1,460 ニカラグア 973 ハイチ 43,618 パナマ 1,163 バハマ 680 パラグアイ 5,487 バルバドス 1,651 ブラジル 80,074 ベネズエラ 6,233 ペルー 356 ペルー 6,767 ポリビア 4,033 ホンジュラス 2,038 メキシコ 40,735
※ 最終更新以降の加盟国は人数未集計 ※ 掲載は各地域内で五十音順		ユーラシア地域 Eurasia Region 12,289人/9か国 事務局: ウクライナ アゼルバイジャン 1,571 アルメニア 1,473 ウクライナ 1,580 カザフスタン 1,010 ジョージア 2,759 タジキスタン 354 ベラルーシ 1,144 モルドバ 363 ロシア 2,035		

上の表は、各国スカウト連盟の2020年12月末日現在の人数を世界スカウト機構(WOSM)が集計して2022年の人数として発表したものです。各国の人数を単純に合計すると約4,280万人ですが、人数が正確に更新されていない国があること、支援・協力者が含まれていないことから、WOSMでは、世界の登録人口として173の国と地域で5,700万人以上のスカウトとボランティアと発表しています。

ジャンボリー会場の気候

第25回世界スカウトジャンボリーは、セマングムの全く新しいサイトで開催されます。このキャンプ場は平らで、一面に海を見下ろし、山の景色も楽しめるのが特徴です。全羅北道の西海岸に位置する美しい辺山辺山国立公園（辺山半島）に隣接しています。敷地面積は約 8.8 平方キロメートルで、6.2km×1.7km（最長点基準）の広い土地に広がっています。（北緯 35' 42 " 東経 126' 35 "）

気温

8月は例年、暑い日が続きます。過去5年間の平均気温は約 28.4℃、平均最高気温は約 33℃、平均最低気温は約 24.6℃でした。

雲量

平均雲量は 8.7 で、月内で大きな差はありません。

雲量→ 晴れ(0-5)、曇り(6-8)、曇り(9-10)

降水量

過去5年間の記録によると、8月の降水量は同じで、降水量は 25mm です。8月上旬の降雨は、雷雨、小雨、適度な雨が一般的です。

相対湿度

8月の相対湿度は通常 64%から 86%です。ジャンボリー会場が、ビーチの近くであることは参考になります。



日本連盟の世界スカウトジャンボリー参加状況（第16回以降）

第24回世界スカウトジャンボリー

(Unlock a New World 「新世界の扉を開こう」)

期 間： 令和元（2019）年7月22日～8月2日

場 所： アメリカ合衆国ウェストバージニア州 サミット・ベクテル・リザーブ

大会参加者： 146の国と地域から41,843人

日本派遣団： スカウト995人、指導者212人 合計1,207人（5分団28隊編成）

派遣団長： 水野正人 副理事長・国際コミッショナー

第23回世界スカウトジャンボリー

(和 a Spirit of Unity)

期 間： 平成27（2015）年7月28日～8月8日

場 所： 山口県山口市阿知須きらら浜

大会参加者： 155の国と地域から33,628人

日本派遣団： スカウト4,327 指導者2,324人 合計6,651人（10分団128隊編成）

派遣団長： 膳師 功 日本連盟コミッショナー

第22回世界スカウトジャンボリー

(Simply Scouting シンプルースカウティング)

期 間： 平成23（2011）年7月27日～8月7日（水）10日間

場 所： スウェーデン スコーネ県クリスタンスタード市郊外 リンカビィ地区

大会参加者： 146の国と地域 他 合計40,061人

日本派遣団： スカウト787人、指導者179人、合計966人（4分団22隊編成）

派遣団長： 中野まり 日本連盟理事

第21回世界スカウトジャンボリー

(One World, One Promise ひとつの世界、ひとつのちかい)

期 間： 平成19（2007）年7月27日～8月8日

場 所： 英国エセックス州チェルムスフォード ハイランズパーク

大会参加者： 155の国と地域 約4万人

日本派遣団： スカウト1,250人 指導者260人 合計1,510人（6分団35隊編成）

派遣団長： 檀上善夫 教育本部員・国際委員長

第20回世界スカウトジャンボリー

(Share Our World, Share Our Cultures 私たちの世界を共有し、それぞれの文化を分かち合おう)

期 間： 平成14（2002）年12月28日～平成15（2003）年1月8日

場 所： タイ王国 チョンブリ県 サッタヒーブ

大会参加者： 147の国と地域から約24,000人

日本派遣団： スカウト1,008人、指導者242人、合計1,250人（6分団29隊編成）

派遣団長： 新藤信夫 中央審議会議長

第19回世界ジャンボリー

(Building Peace Together 共に平和を築こう)

期 間： 平成10（1998）年12月27日～平成11（1999）年1月6日

場 所： チリ・ピカルキン

大会参加者： 158の国と地域から31,534人

日本派遣団： スカウト178人、指導者49人、合計227人（5隊編成）

派遣団長： 村瀬達明 副総コミッショナー（準備委員会委員長 松平頼武副国際コミッショナー）

第18回世界スカウトジャンボリー

(Future is now 未来は今)

期 間： 平成7（1995）年8月1日～8月11日

場 所： オランダ・ドロンテン

大会参加者： 166の国と地域から29,060人

日本派遣団： スカウト1,075人、指導者161人、合計1,236人（5分団30隊編成）

派遣団長： 今田富士雄 副国際コミッショナー

第17回世界ジャンボリー

(Many Lands, One World 多くの地域、一つの世界)

期 間： 平成3（1991）年8月7日～8月16日

場 所： 韓国・全羅北道・ソラクサン

大会参加者： 135の国と地域から19,083人

日本派遣団： スカウト227,6人、指導者399人、合計2,675人（12分団64隊編成）

派遣団長： 中平映次郎 中央審議会副議長

第16回世界ジャンボリー

(Bringing the World Together 世界をひとつに)

期 間： 昭和62（1987）年12月30日～昭和63年（1977年）1月10日

場 所： オーストラリア ニューサウスウェールズ州 カタラクトスカウトパーク

大会参加者： 98の国と地域から14,634人

日本派遣団： スカウト451人、指導者97人、合計548人（5分団13隊編成）

派遣団長： 廣瀬文一 中央審議会議長



各種お問い合わせは所属参加隊の隊長あてにお願いします。
隊長のメールアドレスは所属参加隊名簿の欄外に記載されています。
隊長に電話連絡が必要な場合は、日本連盟事務局へお知らせいただければ、隊長から折り返し連絡します。

この冊子に関して日本連盟事務局へ直接連絡が必要な場合は下記までお願いします。

ボーイスカウト日本連盟 事務局 25WSJ 派遣担当

Tel:03-6913-6262 FAX: 03-6913-6263 E-mail: 25wsj@scout.or.jp

派遣情報 <https://www.scout.or.jp/member/25wsj/>

派遣員内定者向けの新しい情報も日本連盟ホームページ「派遣情報」からリンクされています。
必ず確認してください。

